

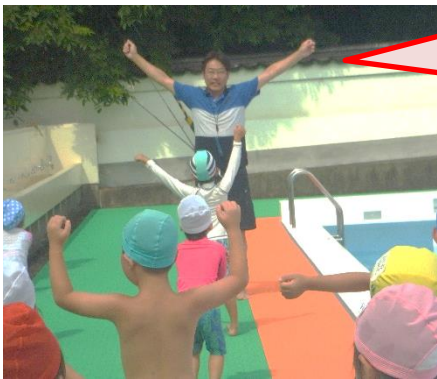
幼稚園と小学校の接続 「校長先生のプール指導編♪」



「おはようございます！小学校の校長先生です。プールに入るときの約束は、プールサイドを走らないこと、溺れたふりをしたりしてふざけないことです。約束を守れますか？」

子どもたちの目線に合わせ、優しい笑顔で話しかけてくれたことで子どもたちもしっかり校長先生の話聞き、ワクワクしながら「小学校のプール体験」が始まりました。

「小学校では、ラジオ体操をするんだよ！校長先生の真似をしてみてね」（園児の中には初めてラジオ体操をする子もいるようなので、遅いテンポで、ラジオ体操するね。と園児のことを考えて事前におっしゃってくださいました）



「やったことある！」と言いながら、校長先生の動きを食い入るように見つめながら、しっかり体操することができていました。校長先生を見つめ過ぎて・・・いつの間にか校長先生との距離が縮まり、校長先生に大接近する子どもたちがかわいかったです。子ども達の発達に合わせていただいた「遅いテンポのラジオ体操」校長先生の子どものことを思う温かさに感謝でした！



「肩まで浸かってごらん。出来るかな？出来るね。すごいな～。次は、プールの中を歩くよ。手を使って体の前をかき分けて進めば、歩きやすいよ。みんな上手だな～」

水を胸にかけたり、頭にかけてたり、肩までプールに浸かったり、園児が何かをするたびに「すごいな。上手だな～」と褒めてもらい、子どもたちの意欲は、グングン高まっていきました。校長先生の笑顔と優しい言葉がけに、子どもたちは、安心感をもって楽しく小学校プールを楽しむことができました。

今回は、川西小学校の藤井貞彦校長先生に「小学校のプールの入り方」について「出前授業」をお願いしました。幼稚園児からすると、大きな大きなプール。ちょっぴり不安を感じていた子どももいたかもしれませんが、子どもたちの表情や動き、つぶやきを受け止めながら、ゆったりしたテンポでプール指導を進めてくださったことでいつの間にか、みんな安心して笑顔でプール遊びを楽しむことができました。（校長先生＝楽しくて優しい→小学校へ行くのも安心！につながったと思います）

また、広いプールで伸び伸びと浮輪で浮かんで遊ぶうちに、「次は、泳ぐ練習してみるわ」「先生見てね」と「プール遊び」から「浮いてみたい」「泳いでみたい！」と意欲が高まり、一時間半ほどの間に、「プール遊び」から「水泳」に近づいた子どもの姿が多く見られました。

プールからあがる頃には、「泳ぐの楽しかった！」「上手になったよ」という自信に満ちた子どもたちの顔を見ることができました。この、意欲と自信がまた次の活動につながっていくように、応援していきたいと考えています。